

世界最先端技術を

糸島から世界へ

「三次元半導体研究センター」「社会システム実証センター」オープン

3月21日、糸島リサーチパークで「三次元半導体研究センター」と「社会システム実証センター」(糸島市東1963-4)の開所式が行われました。この日は福岡県知事をはじめ、国や福岡県、大学、県内自治体、糸島市、半導体関連の企業などから多くの関係者が出席されました。開所式の後は見学会が開かれ、その充実した研究設備に、多くの関係者が注目し、担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。

半導体開発の拠点

新たな中核施設として整備

施設には半導体の開発に必要な最先端の研究機器や研究室、インキュベーション室を備え、企業の半導体開発を支援します。

現在、福岡県は半導体開発の拠点化をめざしシリコンシーベルト福岡プロジェクトを進めています。これらの施設は、そのプロジェクトを加速する新たな中核施設として整備されました。

未来を築く半導体

未来社会を支える製品開発

半導体の高性能化を図るには大きく2つの方法があります。

すでに福岡市早良区百道浜にある「福岡システムLSI総合開発センター」では、共同研究開発や中小・ベンチャー企業の支援、技術者の育成など総合的な取り組みを行っており、その周辺地区には、210社を超える半導体関連企業が集積しています。

糸島の新たな希望

雇用創出と地域経済の活性化

温度・湿度・振動などに対する耐性や電気特性などに関する信頼性試験・評価試験機器を設置しています。

現在、半導体は、携帯電話やICカードを用いた電子マネーのように、社会システムやサービスの構築に不可欠な存在となっています。「社会システム実証センター」では、開発した半導体の試作品を実際に使用した場合、どのような問題・課題があるか、実証実験などとおして、新しい社会システム・ニーズに即した製品開発などを行います。

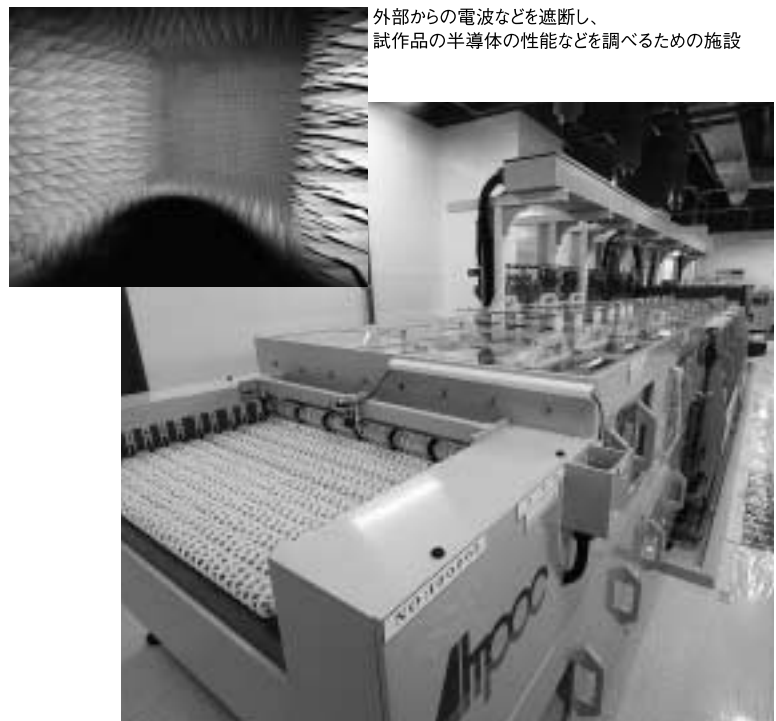
これらの研究施設と「福岡システムLSI総合開発センター」の設計開発機能を合わせると、半導体の設計から実装、実証・製品化までが行える、世界でもまれに見る先端半導体開発の強力な支援体制が完成します。今後、糸島から世界最先端の技術が世界に向けて発信されていきます。

出と地域経済の活性化のため、企業誘致を進めています。これらの研究施設が完成したことにより、関連企業の集積が期待されます。また、施設を利用する企業などの多くの研究者や従業員が、全国そして世界中から糸島市を訪れることにより、さまざまなサービス需要が生まれるなどの大きな波及効果も期待されます。

産業の集積をめざす糸島市にとって、これらの施設は今後のまちづくりの大きな強みとなり、発展の起爆剤となるでしょう。



産・学・官のトップクラスの関係者が施設を見学。機器類の説明に期待のまなざし



外部からの電波などを遮断し、試作品の半導体の性能などを調べるための施設

施設内には、最新鋭の研究開発機器が並ぶ



稼働し始めた未来の半導体を開発する2つの研究施設

日本の技術の粋を集めた
半導体の研究・実証が
糸島市で始動した。

